

Go, Discovery!

スペースシャトル「ディスカバリー」号 最後の打ち上げに成功

STS-133: Final Flight of Discovery



スペースシャトル「ディスカバリー号」は、日本時間2月25日午前6時53分に、NASA ケネディ宇宙センター(アメリカ・フロリダ州)から打ち上げられました。ディスカバリーは地球周回軌道に投入され、打ち上げは無事成功しました。

今回の打ち上げは元々昨年11月1日に予定されていましたが、燃料注入中の水素漏れや、外部燃料タンクの断熱材の亀裂などが相次いで見つかり、延期が続いていました。

ディスカバリーは2月27日に国際宇宙ステーション(ISS)とドッキングし、計2回の船外活動を行い、ISSの補修作業を行います。また、恒久的多目的モジュールとエクспレス補給キャリア、ヒト型ロボット宇宙飛行士「ロボノート2(R2)」をISSに運びます。なお、ディスカバリーはこのミッションを最後に退役する予定で、スペースシャトルの打ち上げは4月のエンデバー(STS-134)と6月のアトランティス(STS-135)の、あと2回となっています。

ロボット宇宙飛行士「ロボノート2」とは?!



クルーの皆さんの
お役に立てる
よう、一生懸命
ガンバリマス!
By ロボ

「ロボノート2」は上半身だけのヒト型ロボットで、重さ約136キロあります。国際宇宙ステーション(ISS)では空気フィルタの掃除やクルーの作業のために工具や機器を持つなど軽作業を肩代わりします。長期滞在クルーは無重力環境におけるロボットの動作を確認し、宇宙における人間とロボットとの共同作業の可能性を探ります。

STS-133 ミッションの最新情報は、下記ウェブサイトで随時公開中です



<http://iss.jaxa.jp/iss/ulf5/>